



提出 令和 7年 2月 26日

## 代表質問通告書

- 一括方式  
一問一答方式

質問 順番	3
----------	---

東海村議会議長 河野 健一様

会派名 光風会

議席番号 2番 議員氏名 恵利 いつ

質問事項 (件名)	今後5年間の村政運営の基本となる 新たな総合計画「まちづくりの羅針盤」とは	答弁者
要旨(具体的に) 現在取り組まれている第6次総合計画に代わって、新年度から「まちづくりの羅針盤」がスタートする。 1) 2020年度から始まった第6次総合計画の総括から見えてきた課題は何か、そして新たな計画にどのように反映し取り組もうとしているのか「まちづくりの羅針盤」について伺う。 2) 「まちづくりの羅針盤」を策定するにあたり、業務委託料が907万9000円計上されていた。どのようなことに使われたのか具体的に伺う。		

質問事項 (件名)	子育て支援策の強化と 新たな柱「こども・わかもの」政策について	答弁者
要旨(具体的に) 1) 手遅れの感は否めないが、国は少子化対策を次々と打ち出している。本村としても、子育て支援策の強化を重点政策として取り組むとしているが、どのようなことに注力しているのか。 2) 「こども・わかもの」に視点を向け、その支援を政策の新たな柱に位置付けた村の考えを伺う。また、子ども一人当たり毎年10月に6万円を銀行振込で支給する「こども・わかもの応援給付金」について伺う。 3) アイヴィルは「こども・わかもの」が自然と集まりリラックスした時間を過ごしている建物。子どもたちに使いやすい空間を提供することについて考えを伺う。		

## 乙 表

氏 名	恵利 いつ	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	窓口改革とオフィス改革 住民に親しみやすい改革となるために	答弁者
要旨（具体的に）		
<p>1) 急速に進む高齢化と社会のデジタル技術の進展により、住民ニーズはこれまで以上に多様化している。この状況を受けて、窓口改革とオフィス改革を進めようとしているが、住民にとって親しみやすく利便性が向上する改革であるべきと考える。基本的考えと今後の進め方を伺う。</p> <p>2) ここ数年、村は行政機能を分散する傾向にあると思う。約 30 年前になるが現在の庁舎建設の頃、「行政機能を集約集中するため」と聞いた記憶がある。30 年ぶりとなる庁舎再整備を行うことで、役場機能をどのように配置していこうとしているのか。考えと今後の計画を伺う。</p>		

質問事項 (件名)	国道の 4 車線化に伴う、 村松・石神地区の新たな整備計画は	答弁者
要旨（具体的に）		
<p>1) 国道 245 号線の 4 車線化に続き、国道 6 号線の 4 車線化が進められている。4 車線化は交通渋滞の緩和につながる一方、通過道路となることも考えられる。国道の 4 車線化は念願であったが、今後は地域の活性化が進むように地域住民の意向を反映した計画づくりが必要。村の考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村松地区の整備計画について 数年前から住民も交えた話合いが開催されていたが、現状と今後の計画について。</li> <li>・ 石神地区の整備計画について 地域住民の期待は大きい。整備計画づくりをどのように進めるのか。</li> </ul> <p>2) 4 車線に拡幅されることで通学児童の安全確保が求められるがどのような対策を考えているか。</p>		

## 乙 表

氏 名	恵利 いつ	No. 3
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	指定管理契約満期、 村民にさらに頼られる東海病院へ	答弁者
<p>要旨（具体的に）</p> <p>安心して東海村に住み続けるには地域医療の充実は不可欠であり、また、高齢化が進展する状況において医療と介護のしっかりとした連携が求められる。本村においてその中核をなすべき病院は東海病院である。</p> <p>1) 現在、指定管理者である地域医療振興協会との契約が令和7年度で満期となる。これまでの東海病院の医療体制をどのように評価しているか。また課題についてどのようなことが挙げられるか。</p> <p>2) 2025年には団塊の世代が75歳以上となる。5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会では、公立病院に対する医療需要に大きな変化が予想される。新たに指定管理契約を結ぶにあたり、どのような体制・対応を求めていくか考えを伺う。</p>		

質問事項 (件名)	中央制御室火災により 不安が増した東海第二原発問題	答弁者 村長 担当部長
<p>要旨（具体的に）</p> <p>1) 東海第二原発は、3.11震災直後にもたびたび火災が起きていた。そして、安全対策工事を進める間にも原電構内で何度も火災と言われる事象が発生している。ここ3年間で10回を超える火災が発生。直近では、去る2月4日午後、中央制御室の制御盤から炎と煙が出たとの報道に、今さらながらに東海第二原発の老朽化を見せつけられた思いになった。この火災は原子炉等規制法に基づく報告事象には該当しないとのことだが、住民としては、原子炉を運転する上で要となる中央制御室で起きた火災はショックが大きい。今回、中央制御室で火災が起きたとの一報を受けたとき村長はどのように感じたか、また、村としてどのような対応をしたのか伺う。</p> <p>2) 津波対策の要である防潮堤の工事不良や中央制御室の制御盤の火災からも、東海第二は廃炉にすべきと私は考える。しかし、原電が再稼働を目指すとしている以上、東海村は、その是非を判断する立場にあるが、判断のポイントは何か。また、現状で再稼働に向けて問題点はどのようなことと認識しているか。</p>		

